

# 玉石インセットブリック仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジョリパット材 JQ-650 シリーズ

ジョリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【初版】平成21年 9月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

## <使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg 角缶	約 80~106 m <sup>2</sup> /缶
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg 角缶</u>	<u>約 75~100 m<sup>2</sup>/缶</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg 角缶</u>	<u>約 80~106 m<sup>2</sup>/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ (ジョリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色 JQ(W)-650T□□□□ (□…数字)</u> <u>特注色 JQ(W)-650△○○○ (△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg ペール缶	約 7 m <sup>2</sup> /缶
骨材	JF-1 JF-5 JF-71	寒水石(白竜)1 厘 寒水石(白竜)3 厘 玉石桃山	20kg 袋入り 20kg 袋入り 20kg 袋入り	約 29 m <sup>2</sup> 約 29 m <sup>2</sup> 約 47 m <sup>2</sup>

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m<sup>2</sup>/セット)

## <主な施工道具>

- ・リシンガン      口径 4~6mm
- ・タイルガン      口径 10mm
- ・角ゴテ(硬いタイプ)又は仕上げゴテ(ステンレス製の軟らかいタイプ)
- ・コンプレッサー 3馬力以上(1台使用の場合)

## <下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

## <玉石インセットブリック仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1' JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下吹き

配 合	<u>JQ(W)-650シリーズ</u>	20kg
	清 水	2~3kg
塗布量	1.0kg/m <sup>2</sup>	
吹圧力	5~7kgf/cm <sup>2</sup>	
施工道具	リシンガン 口径φ4~6mm	

JQ(W) 650-48-01  
(JQ(W)-650シリーズ 玉石インセットブリック)

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎完全に乾燥したことを確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上吹き

配 合	<u>JQ(W)-650シリーズ</u>	20kg
	JF-71	5kg
	JF-5	8kg
	JF-1	8kg
	清 水	2~2.5%
塗布量	約3.5kg/m <sup>2</sup>	
吹圧力	5~7kgf/cm <sup>2</sup>	
施工道具	タイルガン 口径φ10mm タイルガンにて小粒状に吹く。 (詰めて吹かないよう注意する。)	

追いかけ (5分以内)

4. パターン付け

- ・角コテを横方向に持ちかえ、横方向にコテを動かし、部分的に平滑に押さえる。(図-1)

## <施工のポイント>

- ・上吹きは、玉が小粒に散らばるようにする。  
(玉を詰めて吹くと、パターン付の際、骨材が転がらず、平滑な仕上りになってしまう為、注意する。)
- ・コテは横方向に動かし、押さえて部分的に平滑にする。この時、コテが暴れないよう注意する。(図-1)
- ・玉吹きの塗布量が少なく、平滑な面が少ないと感じたら、追いかけて重ね吹きし、再度、パターン付けする。

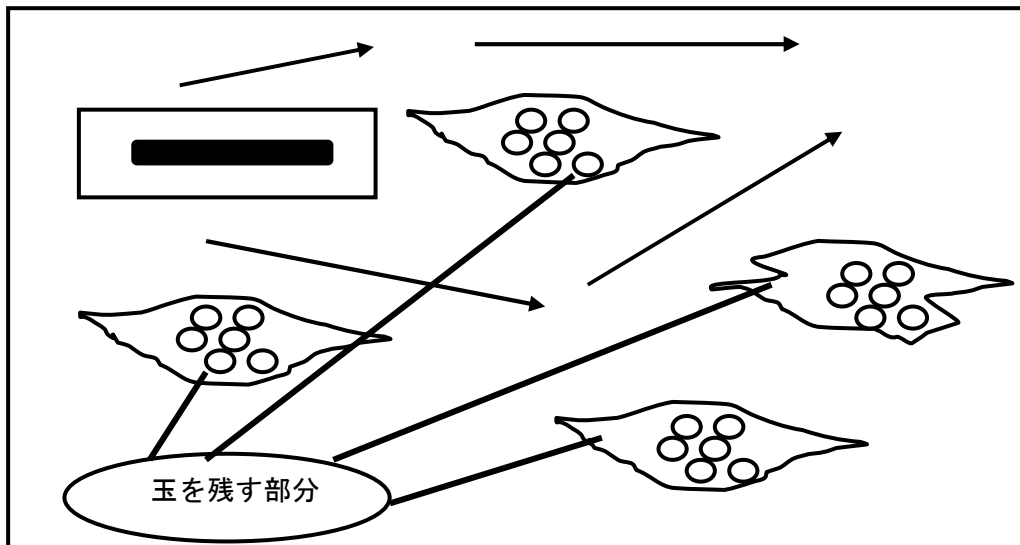


図-1

## <施工の注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主様等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。  
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上